

KUMAMOTO



# GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー  
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2013年2月18日】

第1077回

2012-2013年度 第25回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

「我等の生業」(ロータリーソング)

2. 食事と交歓

来訪者紹介

・卓話者  
(株)自然と未来  
代表取締役 星子 文氏

・熊本市域RC  
熊本西南RC 森 敏博 君

友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長)

本日『バイオ燃料』について卓話をして頂く星子様、どうぞよろしくお願ひします。

また来週は24周年例会で、久しぶりに宮崎御夫妻も参加される予定ですので沢山の参加をお待ちしております。

先週はロータリークラブの大きな行事が2つ参加してきました。

1つは9、10日に開催された全国ローターアクト研修会で、我がクラブは全員登録して下さり、有難うございました。1日目はロータリー部会に本田幹事、仙波地区役員、大友地区役員と共に参加してきました、全国の新世代役員の方々との情報交換が出来、とても良かったです。2日目はチェンライRC



RC 会長エレクトの原田義之氏の基調講演『輝く瞳に会いに行こう』を、山下会長エレクトと共に拝聴して参りました。66歳からタイ語をマスターしてタイの高校の日本語教師になられた事には、非常に感銘を受けました。

2つ目は16、17日に大分で開催された第2回クラブ研修リーダー育成セミナーで、仙波会員と共に参加してきました。1日目は本田バスターガバナーによる『ロータリーの目的と職業奉仕について』の講演があり、その後12のグループに分かれてワークショップを行い、発表会がありました。その日は私が第8グループの発表をしてきました。2日目は、2680地区PG・RI研修リーダーで姫路RCの三木明様による『会員増強と奉仕プロジェクトについて』の講演があり、前日と同じようにワークショップと発表を行いました。最後に仙波地区研修委員会副委員長のまとめのお話がありましたが、2日間で1番素晴らしいお話だったと全ての参加者が感じたと思います。ここでも我がグリーンRCの素晴らしさを感じる事が出来ました。

幹事報告 本田 悟士 幹事

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①会長エレクト研修セミナー(PETS(ペット))開催のお知らせ

(赤山ガバナーエレクトより)

第1日:3月16日(土)

セミナー:13:00～17:30

親睦交流会:18:30～20:00

第2日:3月17日(日)

セミナー:9:00～12:00

卓話  
予定

- 2/25 ★熊本グリーンRC創立24周年記念例会  
<アトラクション> 緒方夕里香さん(アクト所属)ミニリサイタル
- 3/4 熊本グリーンRAC活動中間報告  
★熊本グリーンRACとの合同例会
- 3/11 地区大会報告

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

場 所 人吉市「ホテルサン人吉」

★出席義務者:会長エレクト(山下隆生会員)、次期地区研修副委員長(仙波洋八会員)

②「地区大会バス相乗りのお誘い」(熊本水前寺公園RCより)

「地区大会」の第2日目(3/9)のみ参加の方で、交通手段の無い方は熊本水前寺公園RCのチャーターしたバス(28人乗)の余席が10席ほどあるそうです。ご利用されたい方はお申出下さい。バス利用日時:3月9日(土)

集合:早朝5:20

出発:5:30(於:キャッスルのレストラン側入口)

費用は往復で4,000円/1名

③「将棋愛好家名簿作成のご協力」について(岡村ガバナーより)

当地区で「親睦将棋大会」の開催が企画されております。そこで、将棋を趣味とされている方の名簿を作成されたい旨の依頼が来ております。当クラブ員の中で将棋が趣味の方は是非お申し出下さい。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本水前寺公園RC】

2月20日(水)の例会は、「熊本第三グループIM」のため、2月15日(金)16:00より、メルパルク熊本にて行います。

【熊本北RC】

① 2月21日(木)の例会は、親睦例会のため、同日18:30より郷土料理「太閤」にて行います。

② 3月7日(木)の例会は、「台北羅馬RC姉妹クラブ契約更新例会」のため、変更して、3月8日(金)15:00より、別府「杉乃井ホテル」にて行います。

【熊本'05福祉RC】

① 3月12日(火)の例会は、「県総合運動公園清掃」のため、同日早朝06:00より行います。県総合運動公園駐車場に集合です。

② 3月26日(火)の例会は、「観桜親睦会」のため、変更し、3月30日(土)正午より、熊本市北区植木町寺田邸にて行います。

<取止め>

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、取り止めます。

【熊本東南RC】3月6日(水)

【熊本中央RC】3月8日(金)

出席報告

松山 優喜 クラブ管理運営委員  
(出席担当)



	会員総数		出席率
2月11日	出席免除会員数		休会
	計算上会員数		
	出席会員数		
1月28日	前回の出席会員数	21名	80.00%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	22名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・1/23 熊本菊陽RC 上田 君			

	会員総数	26名	出席率
2月18日	出席免除会員数	2名	54.17%
	計算上会員数	24名	
	出席会員数	13名	
2月4日	前回の出席会員数	18名	87.50%
	メイクアップ数	3名	
	修正出席会員数	21名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・1/22 熊本グリーンロータクト 石浦 君 ・2/14 熊本北RC 中島 君 ・2/15 熊本第3グループIM 蒼 君			

委員会報告

① 農業委員会

2月10日(日)に、障害者支援施設「しょうぶの里」の皆さんと大根を掘りました。軽トラック1杯の大根を皆で掘って贈呈しました。



大根が「小型軽トラック」1杯収穫でき、贈呈しました。



障害者支援施設「しょうぶの里」の皆さんと  
大根掘り体験(H25.2.10)

スマイル

丸山 徹 会員



● 山下 佳介 君、本田 悟士 君  
「本日の卓話者、星子文様にスマイルします。ご来訪に感謝致しますと共に「バイオ燃料の話」、とても楽しみにしております。」

● 伊津野良治 君  
「この年齢でのお誕生日など、本当に星のかなたほど遠い存在でした。心より感謝してスマイルします。」

● 仙波 洋八 君  
「畑の収穫が終わりました。そこで一句『巨人より大鷲よりも遅く 小さく育った大根が好き』。」

● 松山 優喜 君  
「今日の卓話は「自然と未来株式会社」の代表 星子 文(あや)さんです。かわいい顔にもかわからず。やっている事業は今、熊本県が注目しているバイオ事業です。皆さんの知識向上に役立てて下さい。ちなみに昨日、私は熊本城マラソンの抽選に漏れ、人吉マラソン20Kmを走りました。腰が痛くてどうしようもありません。」

● 河島 一夫 君  
「先週は、東北に行って来ました。石巻市はまだまだ大変な状況で、私にできる事は地元のお土産を買う事だけでした。すぐ南の松島は島々のおかげで被害をうけていないのには驚きでした。」

● 山下 隆生 君  
「本日の卓話者 星子様のバイオエネルギーの話、楽しみです。環境を考えたエネルギーは、今後のビジネスにも大きな期待です。初めての講演ですが、緊張しないよう、気楽にどうぞ。声援を込めてスマイルします。」

● 田中 純司 君、菅 孝之 君、上田 観一 君、河野 景治 君  
「本日の卓話をお願いする、星子様に心をこめてスマイルします。」

● 丸山 徹 君  
「本年初めての出席です。今年こそは大爆発したいと思ひスマイルさせていただきます。」

### 3. 例会プログラム

演題 「バイオ燃料のはなし」

卓話者



(株)自然と未来  
代表取締役 星子 文 氏

### 4. 閉会・点鐘

## 持続可能なプロジェクトを行う 2つのクラブ

記事: Vanessa Glavinskas  
ロータリー・ニュース: 2013年2月14日

二人のロータリアン、ウォルト・シャーファーさん(米国、チコ・ロータリー・クラブ)とサディキエル・キマロさん(タンザニア、モシ・ロータリー・クラブ)は、5年間に及ぶプロジェクトでの協力を通じて、持続可能性の大切さを学びました。

「協力相手と連絡を取ることが重要」と話すシャーファーさんは、プロジェクト実施地の住民であるキマロさんと、Eメールや電話で頻りに連絡を取り合ってきました。二人が所属するクラブは、2008年以来、植樹、学校への給水システムの提供、虫下しの配布、経済発展プロジェクトなど、多くのプロジェクトを協力して実施し、その影響は、キマロさんの地元だけでなく、周辺の農村にも及んでいます。

今回、両クラブは、ビデオ、「10 Key Points for a Successful International Rotary Project」(国際的なロータリー・プロジェクトを成功させる10のポイント)を作成しました。ビデオでは、クラブ会員からの幅広い参加、クラブ間の強力なパートナーシップ、地域住民の参加、地域リソースの活用など、10のヒントが紹介されています。

クラブ間の協力は、チコ・クラブがアフリカで安全な水を提供することを目標にし、シャーファーさんが非営利組織のAfricareに連絡したことがきっかけとなりました。キリマンジャロ地域の人々がきれいな水を必要としていることを知ったシャーファーさんは、地元の本シ・クラブで当時のクラブ会長だったキマロさんに電話をし、プロジェクトのアイデアを伝えました。その後、両クラブの賛成を得て、協力関係が成立しました。

両クラブの協力による活動は、水と衛生に的を絞った活動から始まり、その後、同様のプロジェクトを周辺地域でも実施しながら、プロジェクトの裾野を広げていきました。

ロータリーの6つの重点分野にも注目し、真に重要なニーズを把握するために、地域住民との話し合いも行いました。「何が必要とされるか住民に尋ね、優先すべき事柄から離れないように気をつけた」とシャーファーさん。結果的に、5つの重点分野に関連する活動を実施しました。「それぞれ独立したプロジェクトに聞こえるかもしれませんが、いずれも同じ地域で、同じクラブが実施したものです」

プロジェクト資金は、財団のマッチング・グラントとクラブの資金によって賄われました。また、その後、両クラブが所属する地区が、ロータリー財団の未来の夢計画(新しい補助金モデル)の試験地区となったため、グローバル補助金も利用しました(新しい補助金モデルは、2013年7月より全地区に導入されます)。

両クラブは、グローバル補助金のためのオンライン申請プロセスを、いち早く使用しました。当初は複雑だった申請手続きも、現在はオンラインで簡単に申請できるようになったとシャーファーさんは話します。

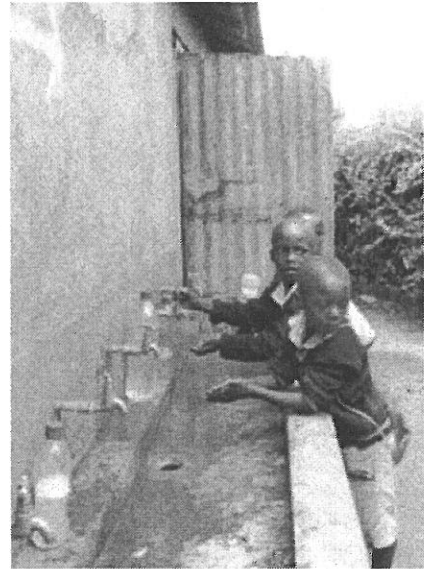
また、グローバル補助金では、より多くのクラブや地区が協力できるようになるため、それだけ利用できるリソースが増え、ニーズのある地域社会で大きな影響を与える持続可能なプロジェクトが実施できると、キマロさんは付け加えます。

両クラブは現在、新たなプロジェクトを実施するため、3回目となるグローバル補助金の申請を行っています。これが承認された場合、これまでにタンザニア北部で実施されたすべてのプロジェクトを含め、活動資金の総額は529,000米ドルとなります。今回のグローバル補助金では、地域全体の水システムの改善、医療クリニックの開設、図書館への太陽光システムの設置、コンピューター室の設置のほか、農家を対象に効率的な販売方法の研修を行うことが目標です。

「大きな影響を生むことができるから、何年間もこの活動を続けてきた」とシャーファーさん。「多くのプロジェクトが実施され、さまざまな団体が活動するのを見てきましたが、いつも活動後のフォローアップが不十分でした。私たちは持続可能性を重視し、模範的なプロジェクトを示すために、この活動を続けてきたんです」

- ・ロータリーの国際奉仕を成功させる10のヒント(英語)
- ・地域社会のニーズを知ることの重要性を紹介した「ザ・ロータリアン」誌10月号からの抜粋(英語)
- ・ロータリーの新しい補助金モデル
- ・ビデオ「持続可能性とは？」

その他のロータリーに関する話題は、国際ロータリー公式ツイッター日本版をフォローしてご覧ください。



プロジェクトで設置された手洗い所を使用する子どもたち。チコとモシの両クラブは、2008年以来、植樹、学校への給水システムの提供、虫下しの配布、経済発展プロジェクトなど、多くのプロジェクトを協力して実施してきました。写真提供：Rotary Club of Chico